

令和6年度事業計画書（令和6年5月1日～令和7年4月30日）

（敬称略）

《事業の概要》

写真を通じて、日本文化の進展に寄与することを目的に、令和6年度は下記の事業を実施する

《中長期戦略企画室》

1. 日本写真会館・建替え実現にむけて、
 - ① テナント対策、事務局移転計画・ギャラリーを含む事務所レイアウト具体化等、スターツ・グループと連携し、着工に向けた準備推進
 - ② 工期中（令和7年8月～同9年10月）、竣工後（同9年11月）における想定収支ベースに沿った事業計画の検討と設定
2. 日本写真会館・竣工後に向けた、「当協会の方向性（未来像）」構築・協議を開始

《総務部》

1. 第78回定時会員総会・広島大会のスムーズな運営推進
2. 全国ブロック、都道府県との情報共有を始めとする連携強化のため、オンライン合同会議開催
（これまでは1回/年、12月に相対での会議開催であったが、今後オンライン会議システムにて、2回/年以上の開催）
3. 令和6年度功労者（写真芸術の発展に功績のあった個人及び団体）の選考と表彰
4. 日本写真館協会との事業連携（アライアンス）の検討とその具体化
5. 日本写真著作権協会（JPCA）との連携強化による、会員への著作権思想の更なる浸透と附番される著作権者ID・有効活用の検討
6. 国際交流活動の推進
 - ① PPJの、円滑な活動に向けた体制の見直し
 - ② WPC2024 入賞作品展の開催
 - ③ WPC2025 応募促進及び入賞に向けた活動強化：入賞作品展開催による認知度向上と応募促進
7. 協会運営並びに事務局の効率的な業務遂行及び、日本写真会館・テナント管理の徹底
8. 日本写真会館建替えに伴う、公益目的支出計画変更の認可申請
9. 日本写真会館建替えに伴う、事務局移転について、中長期戦略企画室と連携して円滑に準備・遂行する

《財務部》

1. 令和6年度予算の遂行管理の徹底
 - ・ 事業実施状況を確認し、各部予算の的確な使用を促進
2. 日本写真会館・建替え工期中及び竣工後に向けた、中期的な予算設定の考え方を策定
3. 上記2の中期的な予算設定の考え方にもとづき、令和7年度収支予算を策定

《文化部》

1. 全国展フォトコンテストの実施
 - ① 第70回全国展フォトコンテスト表彰式・入賞入選写真展開催
 - ・ 表彰式：令和6年5月28日（火）、東京都美術館（東京・上野）予定
 - ・ 写真展：東京都美術館（上野） 令和6年5月28日（火）～6月4日（火）
富士フィルムフォトサロン大阪 令和6年9月13日（金）～9月19日（木）
ポर्टレートギャラリー 令和6年12月19日（木）～12月25日（水）
 - 尚、東京都美術館、富士フィルムフォトサロン大阪は文協コーナーにて「2024 選抜展」併催
 - ・ 「第70回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集」の発行
発行：令和6年5月予定 ・ 販売価格：2,000円/冊（税込）
 - ② 第71回全国展フォトコンテストの企画立案
 - ・ 会員、一般、学生の応募増のための働きかけ・仕組みづくり
 - ・ 第69回より中学生を対象に加えた学生の部、及び一般の部・ネイチャーフォト作品の応募状況検証と応募促進
 - ・ 経費見直しを図りつつ、コンテスト企画の魅力増推進
2. 第73回「写真の日」記念イベント 第1回学校写真フォーラムの開催
 - ・ 日時：令和6年5月28日（火）（第70回全国展フォトコンテスト表彰式と同日開催）
 - ・ 会場：東京都美術館（東京・上野）
 - ・ 内容：卒業アルバムの文化を継承していくための「学校写真フォーラム」を日本写真館協会・全日本学校アルバム印刷組合とともに開催
3. ポートレートギャラリーの運営
 - ① 建替え前の最終期となる、令和7年1～6月期（審査は同6年9月）の応募促進
 - ② 新展示場に対する企画（竣工後に向けたプロモーション含む）推進
4. スクールフォトビジネス対策の推進

- ① 卒業アルバムの文化を継承していくための「学校写真フォーラム委員会」事業を日本写真館協会・全日本学校アルバム印刷組合とともに推進
- ② NPO 法人「よみがえれ卒業アルバム」事業に対する協力
- 5. 写真普及、及び写真文化・芸術に関する調査・研究・表彰(継続実施)
 - ① 七五三・成人式等、日本の慣習・文化を紹介し、写真館で残す写真の意義・素晴らしさを伝播
 - ② 写真に携わる一般人や高校生への写真普及事業の展開
 - ・ 写真普及を目的として写真愛好家や都道府県高等学校写真連盟等の写真活動を支援し、当協会賞を設定、優秀な作品の顕彰に寄与する
 - ③ 最新写真情報及び、歴史の調査・研究並びにその活用
 - ④ 写真作品・写真に関する書籍・情報の収集・保存
 - ⑤ 写真愛好家の育成拡大
 - ・ 地域社会における、写真愛好家の育成拡大のための写真教室開催の検討企画
- 6. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進
 - ・ 各ブロック主催の講習会や研修会等に講師を派遣又は派遣に関わる経費の援助
- 7. 下岡蓮杖翁の顕彰
 - ・ 令和 7 年 3 月 3 日(月) 染井霊園(東京・巣鴨)墓参

《広報部》

- 1. 文協の知名度・ステイタス向上のための活動推進(情報発信と収集・共有の窓口として活動展開)
 - ・ 情報発信力、情報収集力の強化
 - ・ 会員相互の情報共有・交流の活性化
- 2. 出版関係
 - ① 機関誌「写真文化」の内容の充実
 - ・ 印刷特性を生かす良質写真の掲載、インターネット題材への積極的なリンクによる相乗効果、新連載企画「新しい写真文化」による、新規トレンドの紹介
 - ② 「写真文化」年間発行数減(6回/年→4回/年)に対する補完及び、新たな情報提供策として、メールマガジン「写真文化+(プラス)」のタイムリーな発信
 - ③ 「写真文化」での文協活動の報告 … 定時会員総会、理事会、各部活動報告等
 - ④ 全国会員からの情報収集体制の整備(ブロック・都道府県広報担当者との情報連携体制の構築)
- 3. IT 広報関係
 - ① ホームページの内容充実に向けた継続的な更新
 - ・ 「くらしと写真」をはじめ、主に一般顧客層にスタジオ撮影の魅力を訴求する内容の充実を図る
 - ② メールマガジン「写真文化+(プラス)」企画推進他、会員名簿電子化の有効活用推進(付加価値追加)
 - ・ 会員電子メールによるネットワーク作りの推進 / 未収集県からのメールアドレス収集促進
 - ③ ニュースリリースの発行・配布(全国展フォトコンテスト、会長年頭所感等)

《教育訓練部》

- 1. 令和 6 年度第 61 回夏期写真大学講座の開催
 - ・ 新講師陣による第 60 回の内容をベースに改善策を施し、実施する
 第 61 回企画として、
 - ① 時代ニーズに合せた参加し易いコース設定(開催期間 3 日間・従前比▲1 日)による参加費値下げ
 - ② 基礎、撮影、成人振付撮影、学校写真の 4 コースを実施(従前実施の、応用、和装婚礼振付、七五三成人着付の各コースは実施せず)
 - ③ 技能検定合格に向けた内容とする。また、成人振付撮影、学校写真コースは最終日に認定試験を行い、合格者には当協会よりコース修了認定証を授与する
さらに、同講座終了後、アフターフォロー策として受講生向けオンラインミーティングを開催する
- 2. 技能検定対策
 - ① 「写真職種・肖像写真デジタル作業(1・2 級)」
 - ・ 受検者数減理由により隔年実施となり、次回実施は令和 7 年になるが、今年度においても受検者増に向けた働きかけを行なう
 - ・ 今後の受検者数増対策の一つとして主要都市での写真映像教育機関と連携した検定試験実施可能な拠点作りを推進
 - ② 「写真職種・学校写真作業」の新設検討及び、働きかけ